

荻布海商	第三共同丸	六月二日	臨時増員及荷役賃取	機部一名増員、東榮丸荷役賃は日魯荷役賃と同率に、聖天丸は日本合同工船の荷役賃と同率に、本船は露國水産組合の荷役賃と同率に夫々改正
辰馬汽船	桃葉丸 悠紀丸	六月四日	増員要求	三菱共甲板部一名増員
同 右	北米航路船	同 右	食料金割増	四十五ドル換算支給
藤間汽船	妙大安丸	六月六日	日支船員交代要求	貫徹
犬上汽船	第五丸 礼曉丸	同 右	不當雇入反對	實歴を有する炊夫、石夫を乗船せしむ
明治海運	北海丸	六月七日	食料金不足額支給要求	不足額二百圓を會社より支給
東洋捕鯨	第一大正丸	六月九日	給料増額荷役賃	給料一割一分乃至三割六分増給荷役賃決定
白坂汽船	濟州丸	六月十一日	日支船員交代要求	大體名古屋、若松間の航海終了後支那船員を下船せしめ、日本人船員を乗船せしむ
近海郵船	南嶺丸 北嶺丸	六月十四日	居室通風改善	扇風機一臺を設置
互光商會	謙讓丸	同 右	給仕見習下船	給仕見習を下船せしめ本員を乗船せしむ
日魯漁業	冷凍船九隻	六月十六日	食料金割増要求	内地仕入港出帆の際一ヶ月以上航海豫定の場合は出帆より歸港日迄食料金一割増。豫定が一ヶ月以内であつて都合で一ヶ月以上に亘る時は同じく一割増
原田汽船	盛運丸	六月十七日	附長罷止、首席料理人に最低賃銀不拂	最低賃銀支給
北九州汽船	神威丸	六月十七日	最低賃銀不實施	一部支給、後日最低賃銀支給を誓約、但乗組員は組合未加入
大家商事	大壽丸	六月十八日	機長、一運排斥	兩名下船

本郷汽船	五朝山丸 帝海丸	六月廿七日	船内荷役賃引下反對	貫徹
廣海商事	廣通丸	七月一日	火夫一名増員要求	貫徹
馬場合資	有明丸	七月三日	見習員補充	見習の代りに本員を乗船せしむ
日の出汽船	對州丸	七月五日	不當雇入	不當雇入の見習を下船せしめ本員を乗船せしむ
三井物産	鞍馬山丸	七月六日	危險手當	上海事變に關する手當として八十七圓四十錢支給
神港汽船	神港丸	七月七日	給料未拂解散手當	未拂分及手當支給
中川合資	愛徳丸	七月八日	最低賃銀低下反對	貫徹
三寶汽船	久滿加多丸	同 右	揮發油積載危險手當要求	危險手當として本給の二割支給
都 汽 船	第十霧島丸	同 右	同 右	同 右
昭和海運	天光丸	七月二十日	危險手當(揮發油)	一罐(小罐)一錢二厘支給
栗林汽船	雲海丸	七月二十日	同	同
原 商 事	第一眞盛丸	七月二十日	日支船員交替	交替
島谷汽船	太平丸	七月廿一日	油差臨時缺員補充	アブレランチを補充乗船せしめんとしたが交渉の結果火夫一名補充
小野商事	第四小野丸	七月廿六日	水夫缺員補充	缺員を實歴不足の水夫見習を以て補充せんとしたが交渉の結果水夫を雇入て解決
三寶汽船	佐賀丸	七月廿八日	權掃除賃減額反對	從來廿圓の支給を會社は十圓に減せんとしたが交渉の結果十五圓で解決
原 商 事	第一眞盛丸	七月廿八日	日本船員交代	交代